

尾瀬アヤマメ平山行報告

【山行日】2024年 10月 12日(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:30

【費 用】マイカー1台 : 5,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:藤原ト、
飯野、木村、嶋田、鈴木ミ、並木

【コースタイム】岩舟支所 P4:30=戸倉 P6:00/6:20=
鳩待峠 6:55/7:10~横田代 8:25/8:35~中原山
8:50/8:55~アヤマメ平 9:00/9:10~富士見田代
9:20/9:30~土場 9:50/10:00~竜宮小屋
11:00/11:40~山ノ鼻 13:00/13:20~鳩待峠
14:10/14:15=戸倉 P14:45/15:00=道の駅「かたしな」15:35/15:55=岩舟支所 17:30



2022年5月に残雪のアヤマメ平に登り、素晴らしい雪景色に感動し紅葉のときに登りたいと思い計画した。久しぶりに晴天に恵まれ、皆さん絶景に期待を膨らませ4:30に岩舟支所を出発する。



北関東道から関越道を走り沼田ICで降りて国道120号線を進み、鎌田の交差点を左折し国道401号線を進むと戸倉の駐車場に着く。

戸倉の第一駐車場はすでに満車の看板が立ち、直ぐに第二駐車場に向かうと半分くらい空いていて止めることが出来た。やはりこの時季の尾瀬は、紅葉目当ての登山者が多いのだなと実感させられた。出発の準備を整えたらトイレを済ませ、鳩待峠行き乗合バスのチケットを購入しバス乗り場に並ぶ。乗合バスは満員に

なるとすぐに次のバスが来て、ほとんど待つことなく出発する。30分程山道をゆられるが、車窓からの景色を見ると紅葉はまだまだの様子である。鳩待峠の駐車場に着き、バスを降りて少し歩き休

憩舎の前にザックを下ろす。トイレとストレッチを済ませたら出発し、休憩舎の中を通った先が登山口になる。ブナ林の広い登山道を登って行くが、紅葉はまだまだ進んでいない。木の根の階段状の道を登り、しばらく登ると樹相が針葉樹に変わり木道が現れる。30分程登った平らな場所で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。ここからしばらく針葉樹林の中を木道と山道を繰り返しながら歩き、次第に高度が上って行く。ほとんど展望が無い樹林帯をひたすら登って行くと、いきなり視界が開けて横田代の湿原に出る。横田代は大きな傾斜湿原で池塘もあり、草紅葉が丁度見頃で素晴らしい。振り返ると至仏山が朝日に輝き素晴らしい。



池塘脇のベンチで休憩をとり絶景をカメラに収め、リンゴや菓子をいただきおやつタイム。

ここから広い湿原を緩やかに登ると針葉樹林がまばらに茂り、笹が茂る道を登って小さなピークを



越える。少し下って登り返すと、本日の最高点中原山に着く。シラビソの木に山頂を示す札が掛けられていて、記念写真を撮ったらアヤメ平に向かう。笹原の道を緩やかに下ると広大な湿原を歩くようになり、前方には池塘越しに燧ヶ岳が大きく見えてくる。振り返ると至仏山が静かな佇まいで聳え、越後や会津の山々が望める絶景である。湿原の中ほどに大きな休憩所があり、アヤメ平の標識が立っている。ベンチに腰かけて休憩し、絶景を楽しみながらナシ

や菓子をいただく。湿原帯を抜けると尾根の南側を歩くようになり、右眼下に片品側の展望が開け素晴らしい。本来なら紅葉に彩られた絶景が広がるはずだが、今年はまだまだ緑の景色が広がっ

ていた。広い木道に滑り止めのゴムが貼られ、景色を楽しみながら超快適に下って行く。竜宮への分岐に小田代と云う小湿原があり、寄り道して記念写真を撮る。分岐を左に進み竜宮に向かって下って行くが、ここでも木道に滑り止めのゴムが貼られ安心して下れる。明るい樹林帯の道を緩やかに下って行き、ベンチが置かれた「土場」の標識が立つ場所で小休止する。この先長沢ノ頭までは緩やかに下るが、その先からは急な岩交じりの斜面を下るようになる。滑らないよう慎重に下って行き、グングン高度を下げて行く。



く。樹相も広葉樹林帯に変わってくるが、緑の葉が多く色づいているのはヤマウルシの葉だけである。傾斜が次第に緩んでくると長沢に出合い、木橋で沢を渡って緩やかに下って行くと尾瀬ヶ原が視界に入ってくる。尾瀬ヶ原中田代の一角に出ると木道を歩くようになり、見事な草紅葉の広大な湿原に



歓声が上がる。木道を真っ直ぐ進むと竜宮十字路に出て、ベンチがあるテラスでランチタイムとする。我輩がキノコ汁を作っている間に、皆さんは竜宮小屋の隣にあるトイレに行く。温かいキノコ汁とガンモの煮つけと、おにぎりやお稲荷さんを美味しくいただいた。ランチが済んだら尾瀬ヶ原を山の鼻に向かって出発する。周囲の山は緑色だが湿原は草紅葉が丁度見頃で、陽光が当たると草紅葉のグラデーションが美しい。池塘に浮かぶヒツジ草は紅葉し、水面に浮かぶハート型の葉は自然の

芸術である。大きな池塘には燧ヶ岳が水面に映り、逆さ燧ヶ岳と皆さんの姿をスマホに収める。

木道は大勢のハイカーが行き交い、この秋一番の賑わいとなった。山の鼻に着くと大勢のハイカーが休憩しており、人混みを避けてすぐ先の自然研究路のベンチで休憩する。至仏山を見ながらキノコ山等の菓子をいただき、疲れた足を休める。山の鼻でトイレを済ませたら鳩待峠に向かって出発する。尾瀬ヶ原は下山が登りになり、疲れた足にはきつい登りである。それでも今回のメンバーは健脚揃いで、コースタイム120分の登りを50分で登り切り鳩待峠に到着した。直ぐに乗り合いバスのチケットを購入し、バス乗り場に移動してバスに乗る。直ぐに満員になって出発し、30分程で戸倉の駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。途中、道の駅「かたしな」に寄って買い物し、リンゴやキノコをゲットする。国道120号線は車が多く走りが悪かったが、関越道と北関東道は順調に走り、予定通り岩舟支所に帰着した。